

農業後継者育成基金事業

平成25年度 農業高校助成事業

事業主体名 鹿児島県立種子島高等学校

1 目的

本地域は農業が基幹産業であるが、入学生数の多くは第二種兼業農家・非農家であり、農業体験が少ない。しかし、過半数の生徒は農業に興味・関心を持ったことを入学の動機にあげている。このような現状から、農業の実際を学ばせるための視察研修や体験学習等は就農意欲の醸成とともに教育的効果が高い。

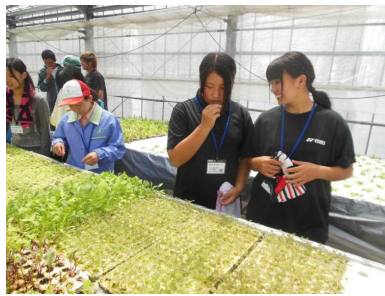
2 実施状況

(1) 農業大学校の体験入学

農業大学校への進学を希望する生徒6名が、園芸・畜産コースに3名ずつ参加した。希望する学科の説明を受け、果物の糖度測定や土壌診断、黒毛和種の受精卵の採卵実習を行った。また、農大教育の特徴や寮生活の説明を受け、これまでに以上に関心を持ったようである。



畜産学部の学科紹介



農学部の施設見学



野菜科の体験実習

(2) 1年生先進地視察研修

就農志望者に対して農業大学校や農業開発総合センター、島外の先進農家を1泊2日で見学した。農業への興味・関心を確実なものとし、将来就農を目指すための動機付けとなった。



田畑農園の概要説明



山川高校の農場視察



農業大学校の農場視察

3 今後の課題及び取組

本年度も農業大学校進学者が昨年同様の8名であった。これも農業後継者育成基金事業を継続・活用した結果である。今後も事業内容を魅力あるものにして、就農志望者が1人でも増えるように展開させたい。

